

国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成26年11月20日(木) 事務局1階入札室	
委員	委員長 山尾 佳史(公認会計士・税理士) 委員 浦崎 威(弁護士) 委員 竹林 正宏((一財)富山県建築住宅センター専務理事)	
審議対象期間	平成26年 4月 1日 ~ 平成26年 9月30日	
抽出案件(合計)	3 件	(備考)
工 事(小計)	3 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	1 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人富山大学において発注した 建設工事について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>2. 国立大学法人富山大学において発注した 設計・コンサルティング業務について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>3. 指名停止等の措置状況について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング 業務の抽出結果について (山尾委員長より説明)</p> <p>・特になし。</p>	

別 紙

質 問	回 答
<p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>(1) 一般競争入札方式</p> <p>【富山大学（杉谷）講義実習棟改修機械設備工事】</p> <p>低入札価格調査について詳しく教示願いたい。</p> <p>直接工事費のどの項目で約 70,000 千円の違いがあったか。</p> <p>低入札価格調査を実施する際は、各項目の価格比較表などを整備し、この価格で施工可能となる根拠を具体的に示させる必要があるのではないか。</p>	<p>調査対象会社から提出があった、入札事情説明書を基に聞き取り調査した結果、通常取引価格にて入札金額を提示したもので、特に低く入札金額を提示したわけではない。</p> <p>また、直接工事費における資材・機器については、東京本社にて全国の施工現場の資材・機器を一括にて購入する関係から安価に購入できたとの回答であった。</p> <p>空調設備で約 30,000 千円、衛生設備で約 28,000 千円、屋外給排水設備で約 12,000 千円の合計 70,000 千円の違いがあった。</p> <p>了解した。今後は、施工可能となる具体的根拠を示した書類整備を実施する。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p>(2) 一般競争入札方式 【富山大学附属病院中診・外来棟改修その他機械設備工事】</p> <p>契約締結までに時間を要しているが、どうしてか。</p> <p>再々度、入札公告を実施しても良かったのではないか。</p> <p>不落随契での契約相手方の選定については、選定過程など客観的に見ても分かるように書類整備の必要があるのではないか。</p>	<p>企業の選定及び見積金額の積算並びに価格の面で折り合いがつかず、不測の時間を要した。</p> <p>結果的には、再々度入札公告した場合と同時期の契約になると思われるが、仮に再々度入札公告を実施し不調不落になった場合、更に不測の日数を要することが懸念されるため、再々度の入札公告は実施しなかった。</p> <p>了解した。今後は、客観的に見ても分かるように書類の作成方法を検討し、書類整備を実施する。</p>
<p>(3) 随意契約 【富山大学（五福）人文学部校舎等エレベーター改修工事】</p> <p>今回の部分改修工事について、新設（取替）工事との価格比較等の検討をしたのか。</p>	<p>部分改修と新設（取替）工事についての比較検討を行った結果、エレベーターの利用者のことも考え、新設（取替）より部分改修の方が工期も短く終わり、更に、価格についても新設（取替）より安価になることが確認できたため、部分改修を実施することとした。</p>